

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		合志市民まつり運営事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気であふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	商工振興課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1251
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	8	
	1	7	1	2	11283		コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)					
				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市民まつり実行委員会へ補助金を支出し、祭りの計画から実施、実績報告まで自主的な活動の支援を図る。 合志町では産業祭・夏祭り、西合志町ではよかとこ弁天祭りの開催があつていた。合併した平成18年度に合併記念祭を農業公園で開催し、翌平成19年度から、合志市民まつりとして開催している。 合併前は合志町では産業祭・夏祭り、西合志町ではよかとこ弁天祭りが行われていた。 合併して3回まつりを実施したが、市民まつりとして定着させるためには、合志市らしいまつりの在り方について更に論議する必要がある。
【業務の流れ】	・実行委員会運営 ・各種説明会(出店・フリーマーケット・踊りコンテスト)の開催 ・出演者の出勤依頼や打合せ ・市民まつり開催の準備・実施
【主な予算費目】	時間外勤務手当
【意見や要望】	まつり実行委員会で、旧町時代のまつりをそれぞれ実施していくべきとの意見があつた。 まつり実行委員会で、合併したのだから統一した祭りにするべきだとの意見があつた。 まつり実行委員会で、伝統的なものではなく合志市ならでの新たな祭り開催が必要だとの意見があつた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
祭り実行委員会事務局として、合志市民祭りの企画から運営の事務を執行した。約19,000人の市民等の参加があつた。	22年度は政策的要素を含む予算編成であり、例年のような開催は出来ない。よつて、文化祭が開催される11月に同時に産業祭を開催予定。実行委員会の事務局としての事務執行は引き続き行っていく。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ ア 祭り運営事務の執行時間	H
→ イ	I
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	→ ア 人口 人
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
合志市民祭りに参加し連帯感・融和を図る	→ ア 市民祭りへの参加者数 人
	→ イ 市民祭りへの参加団体数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
農業公園での開催が出来ないため、規模の縮小を図るが、市民の連帯感・融和を図る意図は同等のものであるので、多くの市民に参加を呼びかける	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア H			1500	1800	1800	1200	1800	
	イ								
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人			54000	54500	54500	55000	55000	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人			19000	20000	19000	10000	20000	
	イ 人								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円		168	305	305	0	300
	(A) 事業費計	千円		0	168	305	305	0	300
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人		58	6	5	6	6	
	延べ業務時間	時間		2,082	1,800	1,835	1,800	1,800	
	(B)人件費計	千円		8,328	7,164	7,303	7,164	7,164	
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	8,496	7,469	7,608	7,464	0

総トータルコスト	全体計画
~	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	合志市民まつり運営事務事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

実行委員会へ補助金を支出し、計画・実施・実績報告まで運営に係る支援は十分に出来た。  
約19,000人の市民が参加し、市民同士の連帯感、融和を図ることは出来たが、経費削減は思うように出来なかった

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

他の市民向けイベントとの統合や、旧町時代の地域毎での祭りの開催等、コスト削減や成果の向上が出来るよう実行委員会でも十分な検討をしていく

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

会場は、市の中央に立地することや多くの駐車場があることで県農業公園を使用しているが、会場がとても広いのでテント等が多く張れる代わりにリース代が高くつくことや、催し物等の配置が拡散しまつり会場の一体感の醸成が難しいなどの課題がある。  
合志市民まつり実行委員会助成事業と統合し、「市民まつり実施事業」とすることができる。